

平成 25 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	出会いふれあいの場づくり事業	予算事業名		担当課	教育課
会計名称	一般会計	予算科目	10 款 5 項 8 目	所属長名	伴 義憲
総合計画での位置づけ	豊かな心をもった元気な町民が育つまちをつくる			担当責任者名(記入者)	只松 淳
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象	町内の独身者		実施期間	【開始年度】	平成 22 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	出会いの機会を提供し結婚のきっかけづくりを行うとともに、町全体で出会いの場づくりや結婚を応援する機運を高めることを目的とする。		事業の内容	実行委員会でイベントの企画をし、出会いのきっかけづくりを行う。	
改善策の具体的な取り組み(当初)			改善策の具体的な取り組み(二次評価後)	町民に主体的に実行委員会に参加してもらい、事業を充実させる。	

事業費及び財源内訳 (千円)					事業活動の実績 (活動指標)					
項目	24 年度決算	25 年度予算	9月末の執行状況	25 年度決算	項目	単位	24 年度実績	25 年度予定	9月末の実績	25 年度実績
事業費	282	580		574	カップル成立数	組	6			12
直接事業費	728	707		707						
人件費	1,010	1,287		1,281						
財源内訳										
国庫支出金										
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	1,010	1,287		1,281						
事務量										
① 人工数	0.10	0.10		0.10						
② 人件費単価	7,289	7,073		7,073						
③ 補助事業人件費										
人件費(①×②-③)	728.90	707.30		707.30						

向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	5年間の合計
	580	580	580	580	580	2,900

成果指標	イベント直後に「もう一度話してみたい人」のアンケートを実施し、そのできた組数で成果を図る。	区分年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標 年度
		実績	6組	12組		
指標設定の考え方		目標	10組	10組	8組	

今年度の課題への対応状況(途中経過)

事業の評価	自己評価(担当者)	妥当性	目的の妥当性	2	合計点が	D	自己の課題認識
			町民ニーズへの対応	3			
一次評価(所属長)	妥当性	町の関与の妥当性	2	合計点が	D	所属長の課題認識	
		事業の効果	2				
		成果向上の可能性	2				
	有効性	施策への貢献度	2				
		手段の最適性	2				
		コスト効率	2				
効率性	受益者負担の適正	3	合計点が	D			
	目的の妥当性	2					
	町民ニーズへの対応	3					
二次評価(所属長)	妥当性	町の関与の妥当性	2	合計点が	D	所属長の課題認識	
		事業の効果	2				
		成果向上の可能性	2				
	有効性	施策への貢献度	2				
		手段の最適性	2				
		コスト効率	2				
効率性	受益者負担の適正	3	合計点が	D			
	目的の妥当性	2					
	町民ニーズへの対応	3					

事務事業名	出会いふれあいの場づくり事業	予算事業名		担当課	教育課
会計名称	一般会計	予算科目	10 款 5 項 8 目	所属長名	伴 義憲
総合計画での位置づけ	豊かな心をもった元気な町民が育つまちをつくる			担当責任者名（記入者）	只松 淳
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等		
事業の対象	町内の独身者		実施期間	【開始年度】	平成 22 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	出会いの機会を提供し結婚のきっかけづくりを行うとともに、町全体で出会いの場づくりや結婚を応援する機運を高めることを目的とする。		事業の内容	実行委員会でイベントの企画をし、出会いのきっかけづくりを行う。	
改善策の具体的な取り組み（当初）			改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	町民に主体的に実行委員会に参加してもらい、事業を充実させる。	

（自己評価） 課題認識	妥当性	目的の妥当性	2	D	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。	D	2	目的の妥当性	妥当性	一次評価
		町民ニーズへの対応	3				3	町民ニーズへの対応		
		町の関与の妥当性	2				2	町の関与の妥当性		
	有効性	事業の効果	2	D		2	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	2			2	成果向上の可能性			
		施策への貢献度	2			2	施策への貢献度			
	効率性	手段の最適性	2	D		2	手段の最適性	効率性		
		コスト効率	2			2	コスト効率			
		受益者負担の適正	3			3	受益者負担の適正			
		課題認識				町内で募集をかけても、応募が少ない状況であり、町が推進すべき事業か疑問である。	実施する事業であるか検討の必要がある。			

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	行政評価委員会で評価する。 答申期限： 1 月 1 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
		【評価 D : 事務事業の抜本的見直しを検討する必要がある】 事業開始当初の目的は中年独身者への出会いの提供であったが、現時点では対象年齢が若返り、参加者が少ない場合、動員をかけている状況である。町内参加者は同じメンバーが多いこと、民間でも同様の活動があることから町が行う事業である必要が薄れてきている。知っている方がいると参加しにくいという声も聞かれることから、県の婚活事業と併せて行ったり、同様の活動を行っている団体の登録先を紹介するなど、斡旋にとどめる等見直しも検討されたい。

経営者会議の最終判断	事業の方向性	コメント欄
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	この事業はあくまで出会いの場の提供であり、平成 27 年度は事業対象者を当初の 30～40 代に戻し、募集についても、例えば行政区長から個別に声かけ等をしてもらい応募につなげるなど再検討する。今後は、応募状況により事業実施について廃止や中止も含めて検討する。